

平成29年4月1日

会長就任挨拶

三重県弓道連盟

第7代会長 伊藤 徹

このたび 三重県弓道連盟の第7代会長に指名いただき、その責務の重大さを身に染みて感じているところです。

もとより連盟運営に当たっては、会員皆様のご指導ご協力をいただかなければできないことではありますが、役員一同全力で勤め上げていきたいと銘じているところです。よろしくお願いたします。



三重県弓道連盟の目的は、「会員相互の親睦を図り、弓道の普及振興に関する事業を行い、県民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資し、もって社会文化の進展に寄与することを目的とする」と連盟規約に明記されています。

4年後の平成33年には「三重とこわか国体」というビックイベントが、名張市で開催されることはご案内の通りです。

また全日本弓道連盟では公益財団となり、すでに弓道競技規則及び審査規程の改定、そして29年度から公認資格制度の適用準備など大きく変わろうとしています。法令順守、公平・公正な運営が求められています。

このため三重県弓道連盟の運営に当たっては、特に連盟内の風通しをよくすることが第一であると考えています。

役員間の情報共有、支部への情報発信・収集、事業運営の見直し・活性化、青年層会員の確保など、国体の運営力、競技力の向上に向けて生かせるような準備を着々と進めていく必要があります、それが私の使命と考えています。

三重県弓道連盟は、約1,800名の会員を有しています。これは決して大きな所帯ではありませんが大きくないが故にできることがあります。弓道の特性を生かし学生から高齢者まで会員相互の連携、コミュニケーションが可能になります。

三重県弓道連盟の総力を挙げて、約半世紀ぶりの国民体育大会を成功させようではありませんか。

再度皆様のご協力をお願いし、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念して会長就任の挨拶とします。